

第1回総務部会 議事録

(1) 日 時：令和5年2月2日（木）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2) 参加者：委員（8名）、事務局6名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 資料説明及び意見交換

- ・ 基本計画（案）について
- ・ 令和4年度勝山市立中学校再編準備委員会の進捗について
- ・ 令和5年度準備委員会（専門部会）検討・協議事項（案）について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（基本計画（案）について）

部会長 ・最初に基本計画（案）とパブリックコメントについて、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ・前回の再編準備委員会を12月の市議会の前に開催し基本計画（案）について説明をさせていただいた。12月議会後、1月からパブリックコメントをさせていただくということで、12月段階の案に一部情報を追加している。P15の勝山高校の特別教棟について記載した。この中学校が使う部屋については県教委と協議をしてきた。12月前の段階では協議中で情報が乗せられなかったが、その後少し話が進んだため内容を進んで改めて書かせていただいた。理科室や技術室は主に中学生が使う部屋として設置をする。音楽室や美術室や調理室など残りの部屋は中高が共用するという方向で話をしている。共用とは高校生が使っている合間に中学生が使うということではなく、中学校の授業をするときは中学校の部屋として使うという意味である。この特別教棟全体を県の方で長寿命化の工事は入っているがリノベーションという大規模改修をしてリニューアルする計画もある。今聞いている範囲では新中学校が開校する時には特別教棟は新築のような部屋になっている。もちろん高校生も新しい環境で使うことができる。もう一点はP53でいわゆる建設費を記載した。これも12月段階ではまだ算定できていなかったが、A案からG案まで今の数字で計算したものを表としてあげた。左側の校舎等昇降口は玄関を含めた校舎、ZEB化は基本計画（案）の中に盛り込んだが、ゼロエネルギービルディングで省エネに関する建設、付帯施設は駐輪場とか校舎の外の建物、外構はグラウンド整備などだどご理解いただければと思う。現時点の概算工事費としては29.8億から35.5億の範囲で算出している。それに地下通路の建設費として3.9億円と見込んで、事業費の計としては33.7億から39.4億の形である。これらを追加2点として1月11日から2月10日までパブリックコメントを募集している。パブリックコメントは現在まで7件あり、中身は反対派の方々のコメントが中心で、基本計画（案）の中身そのものよりも、そも

その手続きの話とかご意見を繰り返していただいている。もちろん中身についてもご指摘をいただいているので、2月10日で締め切ってこれについての回答や考え方は、公表するべく対応したい。2月の最後の再編準備委員会の折りにも報告をさせていただく。基本計画（案）についてはパブコメや1月からの小学校の校区ごとに保護者対象の説明会でいただいた意見などを踏まえて、最終の見直しをして整理をし、3月の議会でもう一度最終的な説明をさせていただいた上で、ご了承いただければ、3月末に教育委員会でこの案を決定させていただく。これが決定すると来年度に入って建設の業者を決めて設計に入っていく段取りになると思っている。

部会長 ・事務局から説明があった。これでパブリックコメントをいただいて議会に提出ということか。

事務局 ・12月議会ではインシャルコストを示せていなかった。1月11日からパブリックコメントを募集するというので、ほかの案件もあって、1月10日に臨時の市議会が開かれた。その折りにこの追加の部分を総務文教厚生委員会で説明をさせていただき、パブリックコメントを取るということで、その委員会の議員の皆さんにはお示しをした。

部会長 ・何かお気づきのことがあればお願いしたい。

部会長 ・では皆さんからお気づきの点があったら戻って確認をするということで、前に進めさせていただく。

（令和4年度勝山市立中学校準備委員会の進捗について）

事務局 ・資料1（令和4年度勝山市立中学校準備委員会の進捗について）を説明

部会長 ・事務局に時系列的に説明いただいた。子ども子育て保護者説明会とはどういう対象になっているのか。

事務局 ・対象は0歳から15歳までのお子様をお持ちの保護者の方という形でご案内をさせていただいている。だから、小学校の保護者だけではなくて中学校とか幼稚園、保育園、こども園とか、そこに入る前の方にも声をかけている。実は会とは別のことだが、勝山市が来年度から福祉部局にある子ども子育て関係部門を教育委員会に持ってきて、教育委員会が教育と生まれてからの子育て支援とか、窓口も全部やる。機構改革をするということで、だから子ども子育て説明会は二本立てで、子ども政策のワンストップ化という説明は市長がする。後半は中学校再編の説明をする。勝山市は少子化の中で全体を育てていく体制をこれから作っていくという趣旨の説明をさせていただく、その中に再編のことも説明し意見をお聞きする。

部会長 ・大事なことだと思う。これから入ってくる予定の保護者の意見はなかなか聞く機会がない。入園前の保護者の不安や疑問についても答えることができる、ここで出てきたことについても説明をしていただく機会があると思うし、後から出ていたご意見が少し報告していただけるのか。

事務局 ・実は説明の後にアンケートを取らせていただいている。この基本計画（案）の説明した内容について、どういうふうに進めていったらいいと思うとか、特に重点的にやってほしいことは何かという趣旨でアンケートをさせ

ていただいている。また機会があれば紹介したい。

部会長 ・部会のことでは何か不足していることはないか。では、部会長の方からどんな議論がなされてきたのか話をさせていただき時間を取りたい。施設整備部会からお願いしたい。

施設部会長 ・第1回から第5回までを行い、残り1回となっている。部会では全員が意見を言うワークショップ形式でさせていただいた。A、B、C、Dの4案と高校の校舎の玄関を改修できるとしたら、こういう案も広がるということでE、F、Gの計7案に対していろいろ意見を出した。それが基本計画の中でのP31からになる。どれもいいところも悪いところもあるので、今後来年度に向けて、設計事務所も含めて協議していきたい。カギとして共用空間の使い方がある。新しくメディアスペースや多目的スペースが作られる予定だがどう中高連携に使っていくか、中学校で使いながら高校とも連携していくことが大事。また学年毎にまとまりたいスペースが必要でどう確保していくかが共通な意見として出ていた。立ち上げる場所は部活動にも関係して限られていて、なかなか難しい計画になると思う。そこは特別教棟を高校と共有しながら残された必要な諸室を配置できるように何回も皆さんと協議をしていくことができればと思っている。

部会長 ・施設整備部会長からの説明だった。施設整備の面でご意見があれば伺いたい。

委員1 ・現在の勝高の空き教室を充分に使えと聞いているが、施設を増やしていなくてもいいのではないかと。総額39億になる。地下道にしても3億が9千万ほどあがっている。こういうことを言うと本当に申し訳ないと思うが、令和3年度に区長会を通じて10地区で説明をした。そこで最終的に決まったのは、合同体育館の跡地を駐車場としてスクールバスの発着場として説明をした。それが知らぬ間にジオアリーナになった。一部子どもが157号線の信号を渡るのは危険だからという話もあった。令和4年度から準備委員会で進めている。個人としては3校を1校にし併設して交流することは将来プラスになると考えている。しかし地下道だけではどうか。ジオアリーナは防災上の施設で駐車場自体がタイヤが半分水につかるようにできている。そこをスクールバスの発着場にするというから無理だろうと言っている。それに水路はものすごく問題になる、現に何十年に一度だとは思いますが、水害が発生している。これから先、線状降水帯ができて野向でも災害があった。こちらへ来たら大変なことになる。地下道の上がった玄関がちょうどそこに向かう。今現在のジオアリーナの水路が勝高のグラウンドへまっすぐに来るのならいいが、直角に曲がっていく。そういう前提の下で計画してほしい。地下道の中まで水が入ったら大変。鉄板で水止めをするといっているが具体的なことはわからない。157号線は国道だから許可をもらわないといけない。当時はスクールバスが信用金庫のところから上がって来ると狭いとか長山から降りてくると狭いとかがあって今の話になっていると思うが、奥越特別支援学校の方へ曲がっていけば市営駐

車場になる。12/9にジオアリーナを使う話もあるが何とか通る方法はないかと言われた。12/17には地下道になった。反対の人は署名をして今回は6千というがどこまでの署名なのかわからない。将来の子どものためには3校を1校にすることはいいが、発着場を考えてもらえるといい。信号を渡るのに中学生が危険だということは理解できない。小学校1年生が信号を4つ渡って学校に行く。防犯カメラを何台付けても照明を明るくしても同じ、地下道の危険性はある。個人としての意見だが反対である。

部会長 ・変更になった経緯はあると思う。県への関係はどうなっているかについて答えられることがあれば事務局に願います。

事務局 ・機会あるごとに聞かせていただいているので趣旨は理解している。令和3年の説明会の折りと12月になってから変わったことは事実。聞いている範囲では夏のあと、市営駐車場を発着場にすると、バスが多く来て時間帯によって朝夕集中するし、騒音とか子どもが降りて歩くのに危ないという意見が出て、市教委等で検討して新しい方向性を出したと理解している。時間的に区長さんに集まってくることができなかつたことは申し訳ない。地下通路については、授業や部活動で使うのでアクセスを短時間にするとということが大きな柱になる。信号まで行って渡る時間を考えると10分の休み時間では厳しい。そのことも併せて出てきた案だと思っている。治水の対策や防犯については基本計画(案)にもあるが、県との協議はしている最中でわれわれが示した以上の安全対策や防犯対策を可能にする願いをしつつ進めていきたい。大雨が降ったときには無理にバスが走るとか地下通路を使うことはしない。規則もしっかりつくっていきたい。安全安心の面は協議もあり時間をいただきながら検討していきたい。

委員2 ・合同体育館跡地から降りたらすぐにグラウンドになる。そこからガラス張りの風除室で渡り廊下を作れば先生や生徒でも校舎の中から誰が来ても見える。そのように安全を担保して保ってしていくという思いがある。全くダメならそのように言ってもらえばいい。おそらく1億円はかからない。令和3年の話が原点だったが、保護者かPTAかはわからないが危険な場所だからということで地下道になったと思う。

部会長 ・いろいろご心配いただいている。今後県との協議等も続いているということでそれも含めてこれから進捗状況も伝えていただく。根本的には大きな問題なので簡単にはいかないと思うが安全安心は最優先である。決定できる事項では残念ながら無い。委員会の考えとしては県と協議を続けながら最大限の努力を続けていきたいというところである。この辺りです承していただいてよろしいか。では、PTA部会の方から状況説明を部会長に願いたい。

PTA部会長 ・PTA部会の構成メンバーは各小・中・高のPTA会長と各中・高の教頭先生でいろいろ議論をさせていただいた。今年度はスクールバスに焦点を充てて、最終結論を求めるのではなく、まずはいろいろな案を積み上げていくことを目的に進めてきた。具体的にはスクールバスの発着場の問題と

か、スクールバスの運行ルール、運行ルートへの要望や意見を各中学校区の実情に合った視点から取りまとめていただいた。その中でスクールバスの発着場については、現在の勝山高校の正門前のところや、合同体育館の跡地やジオアリーナを提示されたが、今の勝山高校周辺における交通渋滞、近隣世帯の方々のご迷惑を考慮したりすると部会の方の考えではジオアリーナの駐車場が良いのではないかとということになった。やはりどうしても通勤時間帯にかかってくる、さらに想定できるのは親御さんによる車の送迎が発生する、今の国道の交通量から比べて相当交通量が増えるであろうということで、横断歩道は一つ不安な材料としてはあるという意見だった。次にスクールバスの運行ルールについては、ジオアリーナを駐車場の拠点として想定した時に、ジオアリーナから実測で3km以遠の生徒さんを対象として当初はハブ方式と直行方式の2案が提示された。ハブ方式というのは各3中学校のところにハブの中継点というものを設けてそこからの幹線道路は公共バスを利用する。例えば南部中学校のところをハブの中継点と設定したときに、平泉寺地区はマイクロバスなどでデマンド方式で生徒を乗せて南部中学校に集めてくる。同様に猪野瀬地区は猪野瀬地区、三室は三室という形で南部中学校に集約してそこから公共バスに乗せてジオアリーナまで運ぶ。一回乗り換えが発生するやり方で検討した。もう一つの直行方式はスクールバスを完全に立てて子ども達から乗れない状況の中で、各地区の運行ルートを決めて、バスは何台も必要になるが、生徒たちを乗せてジオアリーナへ運んで行くというもの。二つの案をご提案いただき利便性や安全性を考えて、部会の方としては直行方式案を主軸として検討していく方向とさせていただいた。ただハブ方式を完全になくすのではなく、今後もいろいろ検討する中でハブ方式案も地区によっては有効性があるケースがあるかもしれないので状況に応じて検討していく方向で進めていくことになった。次に直行方式にするという方向でのスクールバスの運行ルートに関して、まずバス停留所を活用することを前提にバスの運行会社と勝山市で検討を重ねていただいて、複数のルート案を提示していただいた。最終の会議の時には各中学校区に分かれていただいて、ワークショップ形式でルート案に対していろんな議論を出していただいた。最終的にはそれぞれのルートの良い点、悪い点を洗い出して取りまとめて次年度へのペンディング事項として引き継いでいくことになった。それ以外に出てきた話題としては、子ども達の安全性を考える上でバスに乗ったとか降りたということが親御さんに伝わるようなメール配信や、バスの位置情報の配信というソフト面を充実させるような要望事項が上がってきた。子ども達を目線に立った形で現実に沿った意見をたくさんいただき活発な討論の場になった。

部会長 ・ P T A 部会のお話を詳細にさせていただいた。保護者の皆さんにも関心の高いところなので要望やご意見はないか。

委員 3 ・ 位置情報等のメールなどはあった方がいいと思う。

部会長	・考えていく必要があるという意見。他にはどうか。
委員 4	・勝山市のバスは位置情報のシステムがあるのか。福井市のバスはある。費用はかかるかもしれない。バスの大きさはどう考えているのか。
PTA部会長	・生徒数に依存してくる。そのルートで回った時に 20 名ぐらいであれば、中型でも充分回れるし、多くなれば大型をまわさないといけない。また雪道になった時に本当に大型が通れるのかなど検討すべきことはある。決めつけるのではなくて柔軟にバスの大きさも考えていく必要はある。生徒数も毎年変わってくる。
委員 5	・他県の山間部ではタクシー会社と連携して一人か二人の生徒をタクシーで運ぶのを見たことがある。状況によって変わることもある。
委員 6	・勝山病院を拠点として、南部・中部・北部と一般のバスが出ている。それを活用してはどうか。
PTA部会長	・PTA部会では一般の方と一緒に乗せたくないという意見があった。
委員 7	・勝山駅から大野まで行くバスに奥越明成高校の生徒が大人と一緒に乗っている。高校生だからかもしれないが中学生だと無理かもしれない。
PTA部会長	・保護者の立場からするとそういう意見の方が強い。先ほども言ったが今年度は案を積み上げた段階なのでその辺りも含めて検討していくことになるのかと思う。
部会長	・他にはどうか。
委員 8	・このスクールバスは基本平日だけなのか。
PTA部会長	・来年度以降のところでも多分話が出てくると思うが、土日だったり、祝日だったりはどうするのかは当然検討内容になってくる。模擬試験の時にどうするのか、いろんな行事がある時はとか全部を含めて検討することになる。
部会長	<p>・いろいろご意見や提案を整理しながら来年につないでいくということによるしいか。では学校運営部会の方に移りたい。</p> <p>・この部会には校長先生も入っているが、別途ワーキングチーム会議として中高の先生方を中心に話をさせていただいている。直接教育を担当している先生方の意見を細かく聞く形で9回開催した。その会議の内容も含めて部会を進めてきた。前半の中では新中学校がどんな特色を持った学校なのか、特色を明確にしないと理解してもらえないと議論をいろいろとしてきた。特に新中学校の学校像についてかなり議論と修正を繰り返しながら進めてきた。その中で特に新中学校を勝山の教育の新しい拠点にしていくことを明確にすべき、0歳から18歳まで勝山で育ていく子ども達の教育の中心がこのエリアの中にあるんだと、そして周りのいろいろな教育施設をここに集めることによって効果的に使っていく、ということをもとめた。更に具体的なものとして探究的な学習をどのようにしていくのか、高校の先生と連携することで中学校をどのようにサポートできるのか、ライフデザインタイムという新しい言葉が登場したが、自分を見据えること、自分が社会でどんな活動をするのか、自分が何にチャレンジしていくのか</p>

という、キャリアを新しい中学校、高校の連続性の中で展開して行く事が大事なのではないかということがまとめられた。今後の展開としては、授業を中心に部活のあり方とか、ICTの問題も含めてソフトが環境を変えることを考えていかななくてはと思っている。以上、報告をさせていただいた。何か質問等あればお願いしたい。

施設部会長 ・学校像や目指す教育についてすごくわかりやすくなっているなあと思わせていただいていた。施設整備部会ではこれを基にどういう場所が必要になるかを考えていかななくてはいけないと思った。

部会長 ・建物、学校の教育内容、PTAの保護者の視点が、それぞれの立場からそれぞれの動きを関連付けながら、できるだけ部会の壁を低くしてお互いの考え方をすり合わせて、勝山市の教育の中核として子どもを主体とした学びを実現できるといいと思う。それでは今年度の進捗についてここで終わりたい。次に令和5年度の内容について事務局よりお願いしたい。

(令和5年度準備委員会(専門部会)検討・協議事項(案)について)

事務局 ・資料2(令和5年度準備委員会(専門部会)検討・協議事項(案))について説明。

部会長 ・準備委員会はメンバーの入れ替えがあると思うが、来年度も継続して協議を進めていくことを前提としている。総務部会では、学校の名称であるとか、校歌であるとか、校章、校旗を考えていく必要があるのではないかという提案だった。学校運営部会、PTA部会、施設整備部会も提案があったが総務部会がもう少し横のつながりをうまく機能させていく必要もあるかなと思った。説明を受けて何かご意見や不足部分はどうか。

・では、今の提案の内容について、不足しているものがないかを整理していただいて来年に繋ぐ部分と新たに考えなければいけない部分を持ち帰って考えていただければと思う。

委員1 ・基本計画(案)の中で「校舎は3階もしくは4階建て程度とする」とあるが、中途半端な感じになっている。杉本知事と会う機会があつて勝山高校の教室について空き教室は充分活用してもらえばいいと言われた。その形からすると3階でできるのではないか。3階と決めた方が前へ進めやすのではないか。

施設部会長 ・施設整備部会で検討をした。きちっと配置すれば3階で収まる。それだと本当に教室の廊下中心の空間になりゆとりがない。4階にすればゆとりを設けることができるし、職員室とかを1階にして、2階、3階、4階を学年ごとの階にする場合も考えられる。

委員2 ・4階で余裕があつた方がよければ4階の方がいいと思う。物事を考えるときに中途半端な形になる。

施設部会長 ・3階か4階、どちらにもいけるような検討になっている。ここではつきり書くよりはその書き方がベストだと思う。

部会長 ・授業のやり方も流動的で、どんな授業をどうやって組むかはまだ部会でも具体的に決められない。一定のところで決定はしなければいけないが今の

	時期は幅を持たせてある。
委員 3	・総合的に考えてのことか。
部会長	・曖昧な書き方になっているのは、柔軟なことができるように少しゆとりを持たせていただければということで時期が来れば決定するということでご理解いただければと思う。 ・それではここで総務部会を締めたいと思う。また皆さんの知恵、アイデアを出していただいて協議していきたいと思っている。本当にお忙しい中ご出席いただき感謝。
事務局	・これで本日は終了させていただく。

資料 勝山市立中学校建設基本計画（案）

資料 1. 令和 4 年度勝山市立中学校準備委員会の進捗について

資料 2. 令和 5 年度準備委員会（専門部会）検討・協議事項（案）